

特集1

開こう、ゼミの扉

特集2

15分でわかる！ 新カリキュラム講座

視界よっ！

韓国 蔚山科学大学校

KYO-SHIP

ビンガム スコット 准教授

REAL VOICE

How to Enjoy 長期休暇

しっぽり語る。

リージャー地獄のホンネ

@MIYAZAKI

盛衰 - 文化ストリートに再び光を

CIRCLE DE GOSHIP

一気に規模が拡大した部活

連続リレーエッセイ いいだしっぺ

宮元 章次 教授

「ヒトはなぜ太るのか」

MMU NEWS PLUS

未来の compass

田園の里 新田学園 住友 洋子さん

Miyazaki Municipal
University
Communication Magazine
"MMU SHiP"

vol.06

今回の表紙 「しっぽり語る。」で座談会を行った2年生と1年生

宮崎公立大学（以下、MMU）の1年生が通る最初の難関、それが「リージャー」。リージャーとは、「Reading Journal」の略で、洋書の読書を通じて、語学力を高めつつ英文読解力を身につけるもの。その過酷とも言える課題に向き合っている1年生と、それを乗り越えた先輩がしっぽりと語り合いました。（P.11へ）

開こう、ゼミの扉

ゼミってなんだろう？

「教員の指導のもと、少人数の学生が集まって、自主的に研究、発表、討論を行うもの」。ゼミナール(ゼミ)という言葉は辞書で調べてみると、そのように書かれている。しかし、そもそもゼミは、どのように選ばれるのだろうか。実際に、どのように研究や発表が行われているのだろうか。特集1では、MMUのゼミを通じてそれぞれの疑問に答えつつ、ゼミ生から聞いたマル秘ゼミ情報も紹介します！



MMUにはどのようなゼミがある？

文学部であれば〇〇文学、工学部であれば〇〇工学といったように、所属する学部や学科に応じて、ゼミで学ぶ内容も決まることが多い。それに対してMMUでは、教養科目を幅広く学び、その中から自分の興味や適性に合う専門分野へと進むことのできる1学部1学科ならではのカリキュラムを採用している。

そのため、ゼミの内容も多彩だ。英語学や日本文学、中国文化論などの「言語文化専攻」、社会心理学や情報デザイン、ネットワークなどの「メディア・コミュニケーション専攻」、そして国際関係論や経済学、国際法などの「国際政治経済専攻」の3専攻に大きく分けられる。学問領域が重なっているものや近いものもあり、それまで持っていた興味・関心の幅が広がることも、さまざまな視点から物事を追究できる。

興味や関心の幅が広がる分、1年次の基礎演習を経て、2年次からの専攻やゼミにベクトルを向けるか悩む学生も多い。そこで次に、MMUの先輩たちがどのようにしてゼミを選んだのかについて見ていこう。



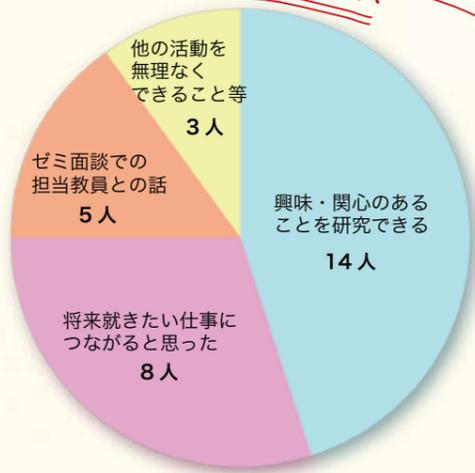
MMUゼミマップ 太い幹から伸びる、しなやかな枝と鮮やかな葉

今回の特集で記者が一番悩んだのが、「MMUの全てのゼミをどのように表現するか」だった。そもそも、それぞれに個性があるゼミを一つの枠に収めることに無理があるのではと、少し諦めそうになっていたとき、キャンパスに生い茂る木々がヒントを与えてくれた。毎年、このゼミの木から多方面に卒業生が羽ばたいていく。

1 MMUの多彩なゼミ

MMUには全部で30のゼミがある。(本誌発行時現在)
1つの専門分野を究めるとともに他の専門知識も吸収できる教育が特徴であるため、さまざまな視点から物事を見る力を養うことができる。

要 CHECK!!



MMUアンケート調査 ゼミの決め手になったものは？ ～さまざまなゼミに所属している先輩たち 30人の回答～

「日本の歴史が好きでもっと知識を増やしたいから」「ジェンダーやメディアに関心があったから」「今年の春に東北に行った時の経験が活かせるから」など、自分の興味のあることを学べるかどうかゼミ選択の決め手No.1という結果に。

また、「先生の前職が、私の就きたい職業だったから」「教育者を指す上で教育学が必要だから」など、将来就きたい仕事を考えて決めた人も多い。さらに、ゼミ活動は講義と比べて担当教員と接することが多いため、「先生との面談が決め手になった」という人も。その他、「サークルやアルバイトなどの活動と両立できそうだったから」「自分を厳しい環境に置けるから」といった回答もあった。

私たちがお答えします！



国際協力・地域経済ゼミ
3年 前山 篤志さん

政治学ゼミ
3年 深田 澄さん

教えて先輩！ ゼミに関するQ&A

数多くあるゼミの中から自分に合ったゼミを選ぶのは意外と大変！
実際に先輩たちはどのようにしてゼミを選んだのか、ゼミを選ぶ際のポイントは何か、いろいろと伺いました。

POINT! ゼミ説明会などで先輩に聞いてみよう

Q1 ゼミを決めた時期はいつですか？

自分の興味がある内容のゼミを選ぶことが、一番良いと思います。先ほども言ったように、いろいろな授業を受けてみて、興味の幅を広げながら「自分が学びたいもの」を探してみるのもいいですね。ただし、興味がある内容を扱っている先生との相性もあるので、いろいろなゼミの先輩たちに、ゼミの様子や進め方などを聞いてみるという手も。MMUでは、先輩たちがゼミ説明会を開いてくれます。ゼミでどのようなことを学ぶのかはもちろんです。先生の素顔など、授業ではなかなか知ることができない情報を得られることも良い機会です。

POINT! 何を学びたいのか、目的を明確にする

Q2 後悔しないためのゼミ選びのコツは？

自分の興味がある内容のゼミを選ぶことが、一番良いと思います。先ほども言ったように、いろいろな授業を受けてみて、興味の幅を広げながら「自分が学びたいもの」を探してみるのもいいですね。ただし、興味がある内容を扱っている先生との相性もあるので、いろいろなゼミの先輩たちに、ゼミの様子や進め方などを聞いてみるという手も。MMUでは、先輩たちがゼミ説明会を開いてくれます。ゼミでどのようなことを学ぶのかはもちろんです。先生の素顔など、授業ではなかなか知ることができない情報を得られることも良い機会です。

Q3 希望者が多い場合はどのように決めるのですか？

希望者が多い場合は、そのゼミの先生から課題が出されます。その課題の結果を踏まえて学生が選ばれるので、人気のあるゼミは大変かもしれません。でも、見方を変えれば、自分が本当にそのゼミに入りたいたいのか、そもそも自分が何を研究したいのかなど、ゼミで学ぶ目的をはっきりさせることができます。

私は当初、今所属しているゼミとは別のゼミを志望していました。そのゼミの希望者が多かったため今のゼミに変更したのですが、そこで改めて何を学びたいのかを考えた結果、今のゼミを選んだ良かったと思っています。

Q4 ゼミでの活動は未来の職に繋がりますか？

ゼミで行う活動や研究は、あくまでも将来働く上での手段の1つだと思えます。自分の将来就きたい仕事を想定してゼミを選択している方にとっては、そのゼミでの活動が直接仕事に繋がっていくでしょう。もちろん、将来どんな仕事に就きたいかまだ決まっていなくてもいいからといって、ゼミ活動が役に立たないということはありません。ゼミで積極的に行動することによって、得られるものはとても多いと思います。



MMUゼミ活動
広告コミュニケーションゼミの場合

地域活性化に関する研究から記事作成への道

- 8月中旬：グループ研究の中間報告
2グループがそれぞれ調査・分析してきたことをレジュメにまとめて報告する。その内容をもとに最新号の広報誌の掲載テーマを決定。
- 8月下旬：取材
より内容を掘り下げるため、2度目の取材へ。夏休み中ということもあって皆の都合が合わず、2人で取材に出かけることに。
- 8月下旬：編集会議
- 9月上旬：記事作り開始
初めて使う編集ソフトのため、事務局企画総務課の田辺さんに、使い方を習う。
- 9月上旬：第1稿提出
ゼミの担当教員である森津准教授に第1稿を提出。いくつかアドバイスを受けて、再度記事を練り直す。
- 9月中旬：第2稿作成
田辺さんの意見も参考にしつつ、記事の完成度を高めていく。
- 9月下旬：最終稿提出

音声学ゼミ ゼミ長
3年 敷根 幸さん



私たちが話をしている際にどのようにして声が出ているのか、話すときの口の形や舌の動き、息の出し方などを詳細に分析する。音声学ゼミでは、そのように音声に関わる様々な要素について研究している。
実はこのゼミ、2カ月間の夏休み中も毎日勉強に励んでいることで、学内でも厳しいと評判のゼミでもある。確かに担当教員の戸高教授は少し、教授が厳しく毎日しているのか、その真相を確かめるべく、ゼミ長の敷根さんをはじめとする音声学ゼミの皆さんにお話を伺った。

夏季休暇中も毎日勉強！
でも実は楽しいんです。
— 音声学ゼミ —

ゼミ活動を拝見

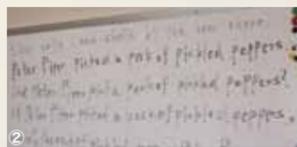
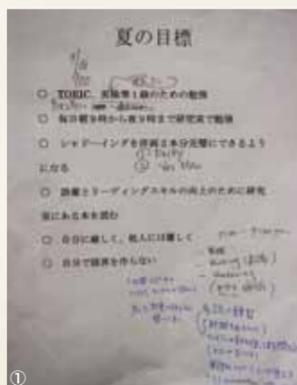
音声学

広告コミュニケーション

ゼミは実際にどのようにして行われているのだろう。その疑問を解決すべく、2つのゼミにお邪魔して、ゼミ生の方々にお話を伺いました。

MMUゼミ活動
音声学ゼミの場合

- ゼミ生の1人が夏季休暇前に立てた目標。あえて高い目標を掲げることで、自らの士気を高めている。勉強の目標だけでなく、人としての成長を目指した目標も。
- 午前中は発声練習。ホワイトボードに書いた文章を皆で読み合う。記者も試しに声に出して読んでみたが、意外と難しい。こうした練習の積み重ねによって、次第に正しい発音に近づいていく。
- 午後からは、映画を観ながら登場人物の台詞を即座に復唱する「シャドウイング」という訓練。
- 続けて、各自がモノになって、互いに質問攻めをしながら、そのモノを当てるというゲーム形式の英会話。皆さんとても楽しそうだった。
- 小休憩を経て、試験勉強を開始。演習室からゼミ室へ移動した上級生たちが、コーヒーを淹れたり、お香を焚いたり、自由に研究室を使っていたことに驚く。
- ゼミで使っているテキスト。まずは発声の仕組みから学んでいくのだそう。使いこまれてボロボロのテキストも、さぞかし嬉しいことだろう。



歩く、見る、聞く、調べる、そして考える。
— 広告コミュニケーションゼミ —

残暑厳しい8月下旬。集中講義期間のため、昼休みの時間を利用して、3年生の紫藤さんと海老原さんをリーダーとするメンバー4人が集まった。数日前のゼミで、グループ研究の中間報告とともに、最新号の広報誌に掲載する記事のテーマが決まったことを受けて、これまで行ってきた取材や調査の整理をするためだ。現地に赴いて聞き取り調査や資料収集を行うフィールドワークでは、取材記録や収集した資料をまとめて客観的な成果を導かなければならない。「この人はこう言っていたけれど、あの人はこう言っていたよね。そう話す紫藤さんたちは、取材によってさまざまな回答を得ることができた分、どのようにまとめるべきか、悩む。その間、「取材に答えてくれた方々の思いを載せたい」とメンバーは口々に語っていた。
考えなければならぬことは他にもある。記事のタイトルとレイアウトだ。仮のタイトルはあったが、取材や調査を経て、しっくりこなくなっていた。「簡潔なタイトルの方がインパクトがあるよね」という一言から、メンバーはそれぞれに考える。「商店街の明日、ってどうかね」「いいけれど、もっと短い言葉で表せないかな」「悪戦苦闘」はどうか? 「それは今の私たちのことだよ」と、冗談を言いながら意見を交わしていく。こうして、予定の時刻を少しオーバーしつつも何とか第1稿を仕上げたが、これからまだ、森津准教授のチェックや、編集ソフトの使い方の方の指導を受け、記事を作成していく作業が残っている。

こっそり集めた
あのゼミのここだけの話

新しく入るゼミ生に毎回、かなり本気のドッキリをしかける。
出張の度に結構な頻度でお土産をくれる。
知らない間に図書館の本の位置を把握している
知らない間に発表の技術が身についている
知らない間に精神面が強くなる
知らない間に就職対策ができていく (特に圧迫面接の対応)
知らない間に大学の職員のみなさまから優しくしてもらえる
知らない間に海外にいる
知らない間に自分の限界を広げている
知らない間に悟りを開けるようになる。

普段は温厚なのに、怒るとめっちゃくちゃ怖い。そして格闘技が強い。
毎朝早朝に先生のメールマガジンが数通送られてくる (笑) 早いときで6時半 (笑)。
うちのゼミは、お菓子持参OK! ポップコーンを、先生が研究室で作って持ってきてくれたことがあった (笑)。
先生の研究室にはなぜか、ヨーグルトのカップが積み上げられている。
先生は歌が上手。声の出し方を熟知しているためカラオケでもエコーなしで歌える。

うちのゼミの先生は、言うときは厳しいけれど、やることをやっていたら認めてくれる、お父さんの存在。毎朝5時に犬の散歩をしています。就職の話や論文の書き方はもちろん、学内の情報にも精通している
新しく入ってきた2年と3年、4年でパレー大会をしたり、コーラとゼロカロリーコーラの飲み比べをしたりした。
理想のお父さんのような先生がいる、アットホームなゼミ。メディアに何度か活動が取り上げられている。

(MMUゼミ所属の2~3年生にこっそり調査)

「はい、ほぼ毎日勉強しています。でも、先生が厳しいからしているわけじゃないですよ」と、笑いながら敷根さんは答えた。
音声学ゼミに入った理由について、敷根さんは「将来、海外に支社がある企業で働きたいから」と語ってくれた。また、同じ3年生の瀬口さん、小林さん、海原さんの理由は、「1年のときに受けた、戸高先生のCALLの授業に感銘を受けた。長期休暇のゼミ活動に魅力を感じ、大学生活を英語の勉強で謳歌したいと思った。どうせやるなら全力でやろうと、厳しいと言われていた音声学ゼミへ」といったものだった。
つまり、先生が厳しいわけではなく、それぞれが強い意志を持ち、主体的にゼミに参加しているのだ。だからゼミ選択の面談では、先生との面談の前に、先輩のゼミ生があえてゼミの厳しさを伝えていた。
夏休みに日々勉強していることについて、敷根さんたちは「わたしたちのゼミの伝統になっているんです」と言う。自らの意志で、厳しくも楽しく活動に励んでいる彼らの言う「伝統」という一言が、とても誇らしげに聞こえた。

☆夏ゼミの1日スケジュール☆

9:00-9:50	一日の目標立て、Voice Training
10:00-10:50	Pair Practice
11:00-12:00	Discussion
12:00-13:00	Lunch
13:00-13:50	洋楽・洋画を鑑賞 (Shadowing)
14:00-16:20	TOEICの練習問題を解く
16:20-16:45	Review
16:45-17:00	一日の振り返り

Section 1

簡単な経歴を説明すると、アメリカの高校を卒業後、アイダホの短期大学に通い、スペイン留学を経てエヴァグリーン大学に編入した。歴史が好きだったから、大学では主にロシアの歴史や文化を学び、ロシア留学も経験したよ。学部卒業後は大学院に進もうと考えていたんだけど、少し休憩期間が欲しかったんだよね。そこで、友達がいる日本に遊びに来たんだ。最初は半年くらいしか滞在する予定じゃなかったんだけど、いつの間にか27年になっちゃった(笑)。

日本に来てからしばらくは知り合いの英会話スクールで働いていたんだよ。それから間もなく独立したものの、マネージメントがとても苦手だね。「教えることを専門にしたい!」と思って、新たにハワイの大学院で学んで教員の免許を取ったんだ。それから日本に戻ってきて、縁あってMMUで働くことになったんだ。

大学院の専門はESL (Education as a Second Language) だったんだけど、MMUでは異文化コミュニケーションを教えることになったから、また色々な勉強をしたよ。でも教えることが大好きだから、専門にこだわるつもりはないし、苦でもないね。

日本に来てなかったらどうしてたかって? ひょっとしたらスペインに行っていたかもしれないね。スペイン人はとにかく陽気だし、仕事以外の時間と家族を大事にしている。その点は、日本人が大いに学ぶところだと思うね。けど、日本は神社やお城とか歴史の長さを感じることができなのが好きなんだ。そういうところをたまに散歩すると、無性に忍者になりたいか思っちゃったりして(笑)。

Section 2

日本では、グローバル人材育成を推進しているようだけど、はっきり言ってコミュニケーションのための勉強が少なすぎるよね。文法ばかりでは意味がない。もちろんそれは高校や大学の入試制度が原因なのだろうけど、それでは英語でコミュニケーションをとることなんてできないし、グローバル人材になてなれやしない。コミュニケーションスキルの向上には、「話す機会」を作ることが一番重要だから、大学の英語の授業でもっと Speaking Time を活用してほしいと思う。間違いを恐れず、どんどん英語を使うことが上達につながるよ。

あとは、大学在学中に関わらず、できる限り海外留学をしてほしいね。留学は「話す機会」が増えるだけでなく、視野を広げることのできる絶好の機会でもあるから、ぜひMMUの学生にはどんどん留学して自分を磨いて、真のグローバル人材を目指してほしいね。

あ、あと学生の皆さん! もっと勉強して! テートや文化祭、バイト、部活に打ち込み過ぎだよ。いや、もちろんするなどは言わないけど、ちょっと偏り過ぎだと思うよ。何のために大学にお金を払っているか考えなきゃ。

偏り過ぎといえば、僕のコーラ好きもそうなんだけど…(笑)。

I Love

Teaching English, Japanese Culture, and Cola!



Associate Professor Scott Bingham

ビンガム スコット 准教授

Major (専門): Second Language Acquisition

第二言語習得

1963年生まれ、ハワイ大学マノア校大学院修了。MMUには、非常勤講師を務めた後、2008年より准教授として着任、現在に至る。



朴 竣成さん
 interview 3年 社会学ゼミ

MMUの了解書締結校である韓国・蔚山科学大学からの交換留学生だった朴さんは、同校を卒業後、2014年春にMMU初の編入学生となりました。今回の「視界よっし!」は、2つの大学を深く知る朴さんへのインタビューをお送りします。

世界へ漕ぎだせ!

視界よっし!



vol.06 ウルサン
 韓国/蔚山科学大学 (出身)

한국 / 울산과학대학교

— 日本語に興味をもったきっかけは何ですか? —
 高校2年から日本語の授業を受け始めましたが、実は、最初は別段興味がありませんでした。しかし、当時ひらがなやカタカナが書けないと先生から体罰を受けていたので、先生を見返そうと勉強を必死に始めたら、徐々にわかるようになり、面白くなってきました。ひらがなの曲線美にも興味もち、日本語はきれいだなと感じるようになってきました。

— なるほど。それでは、所属していた蔚山科学大学(以下、科学大)について教えてください。 —
 名前の通り、工業系の大学ですが、私はそこで唯一の文系学科である観光通訳学科(当時)で、観光を軸に日本語を学んでいました。

元々、日本でいうところの短期大学だったというところもあり(現在は、4年制のコースも開設されている)、MMUと比べると短期集中型で専門の知識を学ぶというスタイルだったように感じます。僕が通っていた東キャンパスは比較的新しく、インターネット環境や天然芝のサッカー場がよく整備されていて、なんとアイスリンク場までありますよ! 学生生活を送るのに最高の環境ではありますが、丘の上にあるので通学中よく筋肉痛になってました(笑)。

— なぜMMUに編入しようと思いましたか? —
 科学大在学中に交換留学生としてMMUに来た頃は、編入学ではなく、帰国して韓国で就職するつもりでした。ただ、科学大では日本語の勉強が中心で、他に学問的な学びの場面が少なく、物足りなさを感じていた自分もいました。

MMUでの留学生生活を送りながら、学問の幅を広げるリベラル・アーツ教育を実践しているこの環境で、学んできた日本語を生かしてもっと学び続けたいと思い、編入を決意しました。

— 今の専門について教えてください。 —
 観光関連の仕事に就きたいと思っていたので、倉先生(社会学)のゼミで、社会学の観点から観光について研究しています。特に、比較社会学に興味があり、観光を切り口に日中韓を比較する研究を進めたいと思っています。

— 今後はどのような学生生活を送りたいですか? 無事に卒業することが第一ですが(笑)、人見知

りがちなのもっと友達を増やしたいですね。また、専門的な知識がまだまだ足りていないと感じるので、他の学生に負けず勉強していきたいと思っています。もちろん、日本語の学習も継続して、日本語能力試験1級取得を目指します!

あと、宮崎県外へ観光したいですね。歴史的な建造物にも興味があるんです。

— 卒業後はどのような進路を選ぶ予定ですか? —
 宮崎のホテルか、韓国国営の観光公社に就職したいですね。共通するのは「韓国と日本の心を観光を通して繋ぎ、東アジアを1つにしたい」という「思い」です。来日前、私の日本に対するイメージはあまり良くありませんでした。韓国国内では、日本人の韓国に対するネガティブな行為がメディアで取り上げられないこともあり、私は「日



① 科学大の大学祭の準備の様子です! 準備の成果は秘密です…。② 運動会で盛り上がっています。僕たちの学科は全敗でしたけど(笑)



本人は韓国のこと好きじゃないんだな」と思っていたんです。しかし宮崎に来て、様々な場面で日本人の優しさを感じました。そういった経験からこの思いが強くなりました。

— マイブームになっていることはありますか? —
 自然に囲まれたところに行くことです。1人で過ごすことが好きで、夜、音楽を聴きながら大淀川沿いで1時間くらい佇んだこともあります(笑)。近所の文化公園にもよく行きますし、高千穂峯の滝にも感動しました。

— 最後に一言お願いします! —
 語学を習得するためにはやはり「続けること」が大事です。語学能力は階段式に伸びていくので、停滞期もあれば飛躍的に伸びる時期もあります。短期間で成果は出にくいものです。諦めず続けてみてください。



① 凌雲祭でトルネードポテト販売! 子どもにも人気があって早く売り切れましたね。② 初めてのスポーツデイ! 負けたけど、皆で運動して楽しかったです。

各専攻の特徴や魅力をご紹介します！



メディア・コミュニケーション専攻長
川瀬 隆千 教授

● **メディア・コミュニケーション専攻の内容と魅力**

あの未曾有の大震災が発生した2011年3月11日、あなたは何をしていましたか？ 連日報道される被災地の光景に、誰もが目を疑ったことでしょうか。私たちはいつでもどこにいても、テレビやSNSを通して日本や世界の出来事を知ることができます。このようにメディア・コミュニケーション専攻では、メディアを通してあらゆる情報や知識が作られることを学んでいきます。メディアは私たちにとって大変身近で、すぐに使える知識がたくさんあります。この専攻の魅力は、「メディアという切り口を持って世の中のことを知っていく」というところにあるのです。メディアに多様な視点で迫ることによって自分の立場が定まり、世の中をしっかりと見ることができるようになります。知識だけでなく、伝えるスキルを培いたいと考えているあなた、ぜひメディア・コミュニケーション専攻と一緒に学びましょう。

● **新入生・在学生へメッセージ**

「勉強は最高の遊び」という言葉を聞いたことはありませんか？ 実は勉強＝遊びなのです。遊んでいる時はあっという間に時間が過ぎてしまいます。その感覚は勉強も同じだと思います。自分の好きな研究を4年間取り組めること程幸せなことはありません。大学のコンピュータや演習室等の施設を存分に利用して、仲間や教員と楽しく学んでほしいです。ゼミの課題もみんなで取り組むことによって、新しい視点が生まれることがあります。そのようにして大学で知的な遊びを楽しんでください。

● **新カリキュラムの内容**

専門課程が、旧来の5つの科目群から3つの専攻制に移行されたことにより、MMUが理念とするリベラル・アーツ教育をより明確にすることができました。「1 major 2 minors」という考え方のもと、専門性と多様性を両立できるよう授業を選択することが可能です。また、積極的行動力の育成のため、地域問題に実際に取り組む科目や、防災について学べる科目など、実践的なスキルの向上につながる科目を新たに導入しています。

● **新カリキュラムを受講する新入生へ**

21世紀は知識時代です。しっかりと頭を鍛え、クリエイティブな力、そして、世界とつながるための語学力を身につけたグローバル人材を目指してほしい。そのためには、「苦手だし面倒だな…」と思っていることを、積極的に行う必要があります。MMUには、そういう前向きに努力する学生をサポートする体制がしっかり整っています。MMUは全学年で900人程の小規模大学ですが、成績上位の学生は、トップレベルと称される他大学の学生とも肩を並べるほどの力を持っています。入学時にそこまで成績が良かったわけではなくとも、MMUで学ぶうちにそのレベルまで達していくという学生が非常に多いの



言語・文化専攻長
中山 本文 教授

● **言語・文化専攻の内容と魅力**

言語・文化は人文学の中心に位置するもの、つまり、言葉があらゆる学問の根底であり、人文学の基本である哲学・史学・文学も、根底にあるものは言語であるということです。ですから、将来どの専攻を選ぶとしても、まずは全ての学生にきちんとした言葉を学んで頂きたい。その点で、私たちの専攻がMMUにおいて重要な位置にいると自負しています。また、新カリキュラムでは、本専攻とは別に、教養課程の中でより高い英語力を身につけることを意識した「英語教育



人文学部長・国際政治経済専攻
田中 宏明 教授

です。この点については、小規模な大学だからこぞできる強みだと自負しており、特に注目してほしい点です。

● **国際政治経済専攻はこんな人におすすめ**

「世の中を変えたい」とか「世の中の仕組みを知りたい」と思っている人や、一流企業への就職を考えている人におすすめです。国際政治経済分野を学ぶことによって、抽象的な理論をもとに世の中全体を見ることができるようになる（視野が広がる）ので、企業の方からも高評価を得ています。

プログラム」も導入しています。これにより、従来以上に手厚く個別指導を行うことができるようになったのです。それぞれのクラスで理解が不十分な学生や、授業についていけない学生は、毎週個別指導を受けることができますので、これもMMUの魅力が大きく進化した点の1つでしょう。

● **これから入学してくる新入生へ**

本学は、まだ今後の進む道が明確に決まっていなくても、入学してから多様な学問に触れ、その中から自分に合った専門を選び、勉強することができる大変自由度の高い人文学部の大学です。これは、自分の将来についてじっくり考えたうえで進路を決めることができるというメリットがあります。まずは言葉の勉強から始めて、次に物事を専門的に考えるプロセスを身につけていながら、自分の人生を確実に進めることができます。視覚的には捉えづらいかもしれませんが、人文学部は「一生を生きていく上で土台となるものを身につけられる学部」といえます。

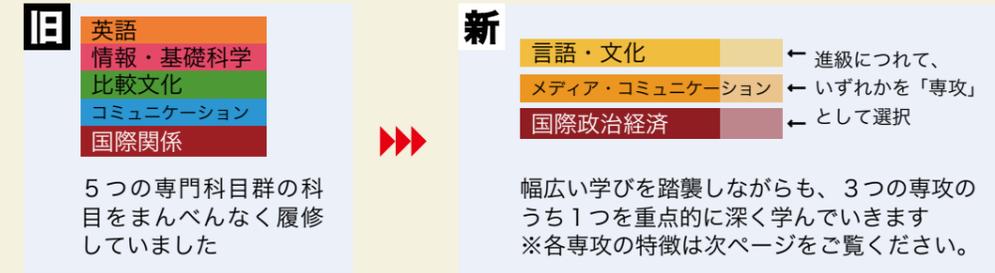
International Politics and Society

Language and Culture

新カリキュラムの新しい5つのポイント

① 専攻制を導入！

旧専門課程の5つの専門科目群の科目を3つの専攻制へと再編成しました。



② 卒業に必要な単位数が増加！

卒業するために、より多くの学修が必要となりました。しっかり学んで、確実に実力を身につけることを目的としています。

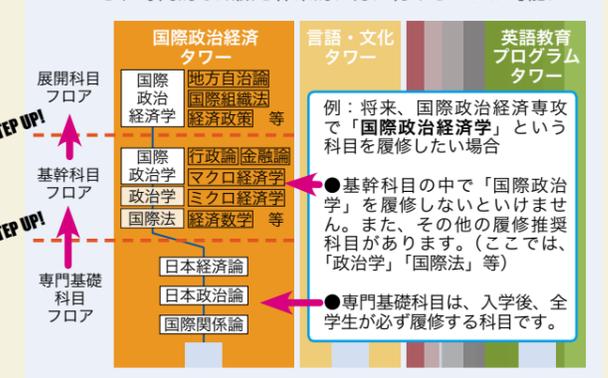


③ 学びを蓄積する仕組みを整備&ナンバリング制度を導入！



「ナンバリング」とは？

例えば、専門科目では入口の「専門基礎科目」から「基幹科目」そして「展開科目」を配置し、科目を段階的に履修するよう制度化しましたが、科目をわかりやすく整理するため「ナンバリング制度」を設けました。体系的な履修ができるよう、科目に記号・番号が付されています。



④ GPA 制度を本格導入！

国際的な成績評価システムであるGPA (Grade Point Average) 制度を導入し、学修成果の可視化を図りました。同評価結果は、専門教育(ゼミ編成等)に活用する予定です。また、評価が4段階(A・B・C・D)だったのが、5段階(S・A・B・C・D)へと変更になり、より細かい評価が行えるようになりました。

⑤ 語学系教育を充実！

語学系科目ではネイティブが担当する授業を増やすことで、より高度な語学力を修得可能な環境を整えました。また、英語を2年後後期まで必ず履修しなければならない科目として設置することで、今まで以上に英語力の向上を目指しています。

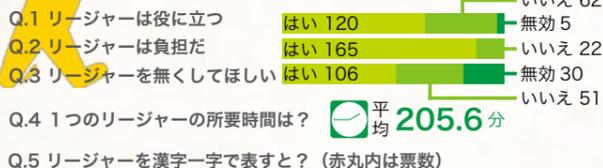


事務局長
荒木 健次 主任主事

15分でわかる！ 新カリキュラム講座

MMU人文学部が2014年から導入している新カリキュラムをご紹介します

1年生に聞きました (有効回答数 187件)



Q.5 リージャーを漢字一字で表すと? (赤丸内は票数)
苦 難 無・読 英・気・重
 辛 力・疲 その他、1票の回答がたくさん!

先輩に聞きました (有効回答数30件)

Q.1 リージャーは役に立っている **はい 21** いいえ 9
 (はいの方、どのように役立ちましたか?) ※以下、回答の一部を掲載
 ・ゼミで英語で書かれた専門書を読むことがあるので、1年のときから英語の文章読みに慣れていて良かったと思った。
 ・日本語では同じ意味でも英単語によって度合いが異なる単語 (驚く: amazed, surprised, astonished など) に多く出会えたことが良かった。

Q.2 リージャー文化の継続を望む **はい 23** いいえ 7

Q.3 リージャーを頑張っている1年生に励ましの一言を!

・適当にすると時間が逆にもったいないので頑張ってください!
 ・今はよだき (宮崎弁で「面倒」の意) とは思いますが、毎回の行動の積み重ねが学生生活を実りあるものしてくれます! また、辛いことがあっても「自分にはリーダーで鍛えた忍耐力があるから大丈夫」と、自信をもつこともできます^^笑

Q&Aの回答の続きはウェブからご覧頂けます。
 こちらからアクセス!

http://www.miyazaki-mu.ac.jp/mmuship6_omake.pdf



これが噂のリーダーこと「リーディングジャーナル」(表裏を2週間で完成)。文字がいっぱい詰まっているのがわかる

リーダーにまつわる

Q&A



これが噂のリーダーこと「リーディングジャーナル」(表裏を2週間で完成)。文字がいっぱい詰まっているのがわかる



リーダーのホンネ

福守 (以下、福) では、まず1年生に実施したアンケートの結果(左上参照)を見てどうですか? 川上 (以下、川) 「役に立っている」が多いね。予想以上に(笑)。
 福 1年生の2人は自分の回答を覚えていますが? 川中 (以下、川中) 「役に立ってない」かなあ(笑)。知らない単語を抜き出すのは勉強になるけど、その他の効果はまだ実感できてなくて。野口 (以下、野) 僕は役に立って思う。単語以外の部分も英文の練習になったりね。多田 (以下、多) でもやっぱり負担になるよね。私も、提出日前は追い込まれてたもんなあ。野 僕の授業では毎週火曜が提出日なんですけど、月曜は部活があるから日曜には終わらせるようにしてますよ。
 一同 え、えらいっつ! 福 ところで、リーダーでは洋書を読みますが、皆さん読書は好きですか? 川 僕はあまり…。文を読むことに抵抗が…。(笑)。多 ああ…読書が好きでない人にはちょっと退屈かな? 川 リージャーで推奨される洋書ってちょっと堅いもんね。話題の本とかが増えたら、もっと興味を持てるのかもしれないけど。 福 読書を楽しいと感じられれば、リーダーも負担じゃなくなるでしょうね。 福 では、2年生の2人はリーダーを終えてみていかがですか? 多 私は、インターネットで手芸のサイトをよく見るんだけど、中には英語だけで書かれたものもあって、リーダーをする前は読み飛ばしてたけど、今は以前よりも読めるようになったと思う。英語に対する抵抗が和らいだかな。

座談会



川上楓 (2年 日本文学ゼミ) 福守鴻人 (1年) 川中康希さん 1年 野口圭さん 1年 多田恵菜さん 2年 出版文化論ゼミ

川 英語以外の観点でいうと、私はリーダーをすることで忍耐力がついたよ、確実に(笑)。
 福 前日集中型で追い込まれた成果ですか(笑)? 多 今思うと、一番いいのは毎日コツコツやることだろうね。リーダーが役に立つかどうかは、私たちの使い次第だと思って。野 同感ですね。僕は英検の英文が苦手です、時間も足りなかったから、リーダーをする時、「ここは〇分で終わらせよう」と自分で決めてやっています。それなら英検の点数が少しずつ伸びるようになりました。自分の使い次第でリーダーはいくらでもプラスになるはずですよ! 川 継続したことの結果がちゃんと現れているのはすごいね。 福 あ…、「役に立たない」と答えたものの、確かにリーダーで普段から英文を読んでいるから、英検で長文を見てもひるまなかったですね。 川 国際文化学科に所属している以上、英語のスキルアップは避けて通れないし、それを入学直後に徹底的にやりぬくことで、壁を破った感が生まれるのかも。私は今、英語に関係のないゼミに所属しているし、次のステップに進んでいる気がするなあ。当時は本当にきつかったです(笑)。 多 やりきったら絶対自信がつくし、自分の中の武器になるから、せっかくなら思いっきり頑張ってください! 福 ありがとうございます。1つの課題について、これだけ真剣に考える機会があるとは(笑)。せっかくなので、リーダーがさらに役に立つと信じて頑張ります! 野 僕は、後期も英検の勉強に役立てていこうと思えます! 川 ああ、この座談会、昨年1年生として参加したかったなあ。

MMU MEMBERSHIP REAL VOICE

テーマ

How to Enjoy 長期休暇

それぞれ約2カ月もある、MMUの夏休み&春休み! だらだらと過ごすだけでも構わない…。ということで、充実した長期休暇を過ごした2人の学生に「夏休み&春休みのあるべきカタチ」を聞いてみました!

川西 あこさんの過ごし方 (4年 日本文学ゼミ)



自分で考え、世界を旅する

— これまでに旅した国は? 10カ国です。1年次春休みのアメリカ・カナダ旅行に始まり、2年生の夏休みにロシア・ベラルーシ・ラトビア・リトアニア、春休みにベトナムとカンボジアを訪れました。そして、3年生の夏にインド・セブ島(フィリピン)に行きました。それぞれ約2週間の旅でした。
 — 10カ国も! 旅の資金はどのように準備しましたか? アルバイトやお年玉等で貯めました。平均費用は約15万円。ヨーロッパは少し割高でしたが、ベトナムとカンボジア、インドとセブ島は、お得に行くことができました。
 — ずばり、安く海外旅行に行く方法は? 航空券は格安航空会社やサイトを利用しました。宿は事前に予約したユースホステル等を利用して、節約します。口コミサイトを見て、安全面や衛生面には考慮していますが。
 — 海外旅行を始めようと思ったきっかけは? 実家のトイレに世界地図が貼られていて、それがきっかけで(笑)。姉が海外旅行好きで、海外に対するハードルは低かったかもしれません。
 — 思い出に残った国は? ベラルーシです。日本人にあまり馴染みのない未知の国に憧れて(笑)。英語は全然通じなかったのですが、現地人は優しい人ばかりで、治安も良かったので助かりました! チェルノブイリ原発事故が起きた場所に行きましたが、福島原発事故を想って建てられた石碑があって。遠い異国で日本との繋がりを感じた場面が、印象的でしたね。
 — これからアクティブに長期休暇を過ごしたいと思っている人へアドバイスを! 海外旅行に行くなら、ツアーではなく、自分で考え自分の足で、行きたい場所へ行ってみてください。その過程できっと、その国のことを深く知ることができます! 私の場合、念願が叶って海外へと飛び出し、これまでの知識以外に、その国へ行かなければ分からないことも体験できました。今、世界各地で宗教や思想の違い等から紛争が起こっています。それらは、異文化理解が十分にされていないからではないでしょうか。これらの旅行を通して、国際人としての教養をより身につけられたとともに、今後、どのような社会でも、広い視野を持って接することができる自信ができました。

渡邊 美紗さんの過ごし方 (4年 情報社会論ゼミ)



資格取得に向け徹底勉強

— 資格を取ろうと思ったきっかけは? 大学で文書作成ソフトの講義時に、「これはまずい!」と思ったことですね。今後、レポートを作成する時に不便なので、克服したいと思いました。ただ、苦手意識があっ(笑)。夏休み中の大学の無料講座にお世話になりました。
 — 資格の勉強はどのように行っていましたか? 初めて資格を取った時は、試験の1カ月前から大学での講座を中心に勉強しました。パソコン初心者なのに、職員の方が懇切丁寧に教えてくださいました。講座は1日1時間あり、復習時間を含めて1日2時間勉強していました。
 — これまでに取得した資格は? これまでの長期休暇を生かして、『日商PC検定(文書作成)』3級取得をはじめとして、2級も取得しました。そして『情報処理技能検定(表計算)』の2級・1級・初段も取得し、苦手を克服することができました! コツコツと勉強を続けるうちに、新しいことをたくさん知ることができ、資格の勉強も楽しくなりました。
 — モチベーションはどのように維持していましたか? 資格の勉強を通して、「できなかったことができるようになる楽しさ」を知ったので、モチベーションについてあまり考えたことがなかったですね。
 — 「楽しむことがコツ」ということでしょうか? そうですね。高校生時代、勉強で悩んでいた時に「苦手でもいいから嫌いになってはいけない!」と思って。苦手を克服しようと思いますが、嫌いと見るのも億劫になってしまうんじゃないですか。それが、コツですね。
 — 最後に、資格の勉強を通じて感じたことを教えてください。何をやるにしても、自分の中で「これをやる」という目標を立てて、継続していくことが大事なのかなって。資格が実際に役立っていることはもちろんですが、その過程での積み重ねが、今の、そしてこれからの自分の自信に繋がっています。何か新しいことでも始めようかな、なんて思った時はチャンスです。長期休暇は、自分の気が向いた時間に、好きなことを始められるので気軽に取り組めるんじゃないかと思っています。大学の後援会からは受験料の助成もありますから使わない手はないですよ!

- 番外編 MMUの学生に聞いた長期休暇の過ごし方
 ●バイト(4年生) ●勉強(4年生) ●海外旅行(3年生) ●自動車学校(2年生) ●ボランティア(3年生)
 ●インターンシップ(3年生) ●帰省(1年生) ●就職活動(4年生) などなど!

■記事 津波 愛乃 (2年 メディアとジェンダーゼミ)

interview
文化ストリートの
一角で
話を聞きました

文化ストリートができた当時から営業を続けているのはわずか2軒であるものの、最近では、古着屋や料理店といった新しい店舗が少しずつできており、現在は7軒程度が営業している。
建物の老朽化が激しくなっている等の課題もあるが、この雰囲気にかかれた若者が訪れ写真を撮ったり、イベントを興したりする等、新たな動きも見受けられるようになっている。
現在の文化ストリートで商売を営む方々に話を聞いてみた。

VIVA LA VIDA

タナカ洋裁店

イヨヤ青果店

Taffee



田中 勝さん
タナカ洋裁店 店長

私たちはここ文化ストリートに、かつてのように人々が行き交う活気ある場所となることを望んでいます。時代とともに消費者の志向、商売の形は変化しました。時代のニーズに合わせて、若者向けのテナントや住宅型老人ホーム、また災害時には避難場所として、宮崎市の生活の中心となるような場所になって欲しいです。私たちは宮崎市民として10年先、20年先の将来を見据えた取り組みをする必要があります。

タナカ洋裁店 shop information

昭和51年、文化ストリートにお店を開いたタナカ洋裁店は、今現在も営業している数少ないお店のひとつである。このお店では海外から一流の生地を輸入し、その生地で作成したオーダーメイドの洋服を作り販売している。

現在では、地域の方々が立ち寄る「憩いの場」にもなっている。



久米 孝之さん
Taffee 店長

私は文化ストリートの現状の維持を望んでいます。ここの雰囲気は決して作るうとしてできるものでなく、これまでの経緯があったからこそできたもので、ここにしかない場所です。それがこの場所の良さで好きなお店です。現状の維持とは言っても、建物の老朽化は進むので建物の修理など、人の手を加える必要があります。今後、現状維持をしつつ、このミニマムな空間、ロケーションを生かした環境ができれば良いと考えています。

Taffee shop information

古着と雑貨を扱うTaffee。宮崎県出身の久米さんは、元々古着が好きで、独立するために古着販売店で店長として経験を積み、仕入れや販売を学ぶ。ここに店を構えたのは自分の生活リズムやスタイルに合っていてゆっくりした時間が流れる場所だったため。人と話すことが好きで、「人の家に来た」という感覚のコミュニティの場を作りたい。

ヨーロッパメインの商品が並び、国内外へ自ら仕入れに飛び出している。



■記事 広告コミュニケーションゼミ生 一同



盛衰

文化ストリートに再び光を



広告コミュニケーションゼミ presents
学生独自の発想力・視点から、新しい宮崎の魅せ方を提案する

セレブ御用達
「文化ストリート」

文化ストリートとは、宮崎市中心市街地のアーケード街「若草通り」沿いの商業エリアで、戦後、昭和21年から22年にかけて、宮崎へと移り住んできた引揚者が商売する場所としてできた。次第にその店舗は増え、お店がひしめき合い商売をするような、活気あふれる場所となっていた。夕方になると人でいっぱい、通るのも大変なほどの大賑わいであった。立ち並ぶお店は、魚屋、八百屋、肉屋はもちろんのこと、乾物屋に洋装店、写真店やかばん店、さらには楽器屋にスポーツ店など多彩。ここに来ればなんでも揃い、それらのお店は高級食材や品質の良いものを取り揃えるところばかりであったという。そのため、ここへ買い物に来るお客たちは、医者の奥さんなど上流の人が主であり、一見はお断りというお店も多かった。このような文化ストリートにお店を出すこと、そしてそこへ買い物に訪れることは、当時の人々にとって一種のステータスだった。それだけ良い商品だという自信とプライドを持って商売をしており、そしてそれだけ良いものの価値がわかる人々が買ってきていたということが分かる。また文化ストリートはひとつのコミュニティでもあった。当時は住み込みで商売をするお店がほとんどで、子どもたちもたくさんいた。お店や家庭同士のつながりも強く、みんなでバスを数台借りて平和台公園まで行き、運動会をしたり春にはお花見をしたり、といったような行事が頻りに行われていたそう。このように、かつての文化ストリートは、人と物と活気で溢れる、にぎやかな場所であったのだ。

かつては数多くのお店が立ち並び賑わいのあった文化ストリート。20年ほど前までは、多くの店舗が商売を続けていたが、後継者不在といった問題や、スーパー・大型ショッピングモールなどの進出が影響して採算が取れなくなることを見込んだことを理由に、シャッターを下ろした店舗が多く、ここ5年でも10軒が店をたたんでいる。

NEWS PLUS
H26.3
~
H26.9

- 23日 **3 March** 日本文学ゼミが、チエコのおやすみアニメ『アマールカ』の宮崎上映を記念し、中心市街地との各種企画を展開（〜4月4日）開学20周年記念論文集を刊行
- 31日 **4 April** 入学式を挙行
- 26日 **5 May** スポーツデイを開催
- 1日 **6 June** 大賀教授らによる公開研究会を細江地区公民館にて開催
- 14日 **7 July** 住岡准教授・山本第2種非常勤講師及び阪本准教授による公開研究会を開催
- 3日 **8 August** MMUキャンパスガイド2014を開催
- 24日 **9 September** 永松教授による「ひらめき★ときめきサイエンス」（日本学術振興会による事業）を開催
- 30日 **10 October** 前期卒業式を挙行
- 14日 **11 November** 森部准教授による自主講座「パワーメーターのデータ解析法」を公開
- 28日 **12 December** MMUのオープンキャンパス「フチ★キャンパスガイド（第一回）」を開催
- 1日 **13 January** 宮崎市明るい選挙推進協議会が、本学学生10名に常任委員を委嘱
- 14日 **14 February** 市民講座「What A Wonderful World」を開催（講師：興梠マリヤさん）（〜7月16日）

6/14 各種公開研究会を従来以上に積極的に開催

平成25年度までは、主にMMUキャンパス内で実施していた、教員による公開研究会ですが、今年度はより多くの方に研究成果を還元するため、研究内容に合わせた場所での発表会を行いました。

これまで3件の発表会を行ったところ、150人を超える方にご参加いただいております。今後も、地域に開かれた公立大学として、様々な地域貢献事業を企画して参ります。



3/23 Pickup News

日本文学ゼミが『アマールカ』企画を展開

日本文学ゼミ（渡邊准教授）と宮崎キネマ館が協働し、チエコのおやすみアニメ『アマールカ』の宮崎上映を実現しました。上映に際し、宮崎の中心市街地の様々な店舗等とのコラボレーションにより、アロマを使った安眠ゼミナー、アマールカのパンケーキ販売、ヘアアレンジワークショップ、絵本・DVDのフェア開催等、学生が中心となって様々な企画を展開。また、3月28日には講演会「文学カフェ@MMU ☆米原万里の文学の世界」も開催しました。



学生記者紹介

今回の企画に関わって、改めて1ページの重さを実感した。そこには、様々な人の想いが、様々な形で込められている。後輩には、この企画を受け継いで、今までにいくらか面白くMMU SHIPを作ってくれたい。

杉村 拓海（4年 英米文学ゼミ）
9月19日、3つの教訓を立てました。①モニタリングは必ずお願いする ②通帳はスマホに近付けない ③ゼミは念入りにリサーチした上で決定する。情報盛り沢山のゼミ特集、お役立て下さい。
上野 麻衣（2年 行政論ゼミ）
初めての学生記者でしたが、本当に良い経験ができました。ぜひ皆さんの手に読んでほしい記事ができてほしいです。協力してくださった方々、本当にありがとうございました。
川上 楓（2年 日本文学ゼミ）

編集後記

職員記者になって今号で3度目になります。回を重ねるたびに新しい発見があります。次々と奇抜なアイデアを出す学生記者が、実はじっくりと地道に取材を重ねていたことや、話せば大人しそうな雰囲気のある学生が、ゼミではリーダーシップを発揮して輝いていたことなど、直接かつ偶然に遭遇したそのような発見を通して、MMU SHIPという名の通りの「MMUらしさ」を感じつつ、それを余すところなく伝えられた記事になっている。読者の皆様の感想が待ち遠しいと思っています。

今号でも、多くの学生教職員に、取材やアンケート調査にご協力いただき、本当にありがとうございました。記者を代表して、この場を借りてお礼を申し上げます。記者一同、これからも「MMUらしさ」を追究した記事づくりに励んでいきたいと思っております。

■担当 栗原文夫（企画総務課経理係）



（左から）上野さん、川上さん、福守さん、杉村さん、外山さん、七野さん、津波さん

GOSSHIP=ゴシップ=噂。MMUの部・サークルに関する噂の真実を調査。

CIRCLE DE GOSHIP No.6



フラダンス部 部長 七野 帆乃美さん 2年 文化人類学ゼミ

本当です！ 私たちフラダンス部は、昨年まで2年生2人だけでしたが、4月の「新入生向け部活動紹介」を機に、1年生が18人も加わり、部員数が一気に10倍に増えました！ 普段は、海外からの留学生の歓迎会や凌雲祭（大学祭）などの場でフラダンスを披露するため練習に励んでいます。また、最近はずいぶんお祭り気分です。地域のお祭りに出演する機会もあるんですよ。

フラダンスは、かつて植民地だったハワイで生まれた文化で、困難を乗り越えてきたハワイの人々の「辛くても笑顔でいよう」という意味が込められています。その向きの気持ちに胸を、私たちが笑顔で踊ることによって、見ている人もまた笑顔にできるのです。フラダンスは「見ゆたりして見えますが、指先まで力を抜くことができません。そんな難しさや緊張の中、笑顔で踊りきるのにはなかなか難しいことです。見た目以上に大変ですが同時にやりがいも感じます。部員数が多くなったのでまとめるのが大変だと思いましたがありますが、一時期は部の存続も危ぶまれていただけに、大勢で踊ることのありがたみに勝るものはありません。

今後は、介護福祉施設や宮崎で行われるイベントでフラダンスを披露するなどのボランティア活動にも挑戦したいと思っています！

記事 川上 楓（2年 日本文学ゼミ）

フラダンス部創設からの部員数の変遷

部員数 奇跡の10倍！

4月18日 部に昇格

4月5日 フラサークルとして発足

4月3日

いいだしっぺ。

連続リレーエッセイ その5

女性は30歳くらいまでは体重を維持していますが、それ以降は太り続けて60歳時点で男性のBody Mass Indexを上回るようになります。それは、ヒトはなぜ太るのでしょうか。現生人は400万年くらい前にアフリカで生まれ、5万年くらい前に全世界に拡散しています。その過程でそれぞれの地域の気候、風土、食物に適応したため人種によって食生活が異なっています。

1万年くらい前、石器時代における食事に占める脂質の割合は約8%であると言われていました。日本では1955年において脂質の割合8.7%であったものが、現在では25%を占めています。脂質の割合が増加した原因には、ヒトの脳が巨大化しながら進化してきた歴史にあります。脳の機能を支えるには多くのエネルギーを必要とするため熱量の高い脂質を好むようになったのです。人類の歴史の中で、ここ60年で食習慣が大きく変化しました。我々のからだは石器時代に適応していますが、石器時代からだと熱量の高い食事を摂っているのです。2013年の栄養摂取量は戦後の栄養失調がみられた時代よりも低いのですが、ここに肥満や成人病が多い理由があるのです。

さて、私の研究テーマはこの脂質をキーワードにしています。二重エネルギー吸収法を用いて成人女性の体脂肪率を測るための算出式を導

◆執筆 宮元章次 教授 (スポーツ・健康科学ゼミ)

1982年筑波大学大学院修士課程体育研究科健康教育学専攻修了。同年から琉球大学教養部で助手を務め、83年から同講師として勤務する。93年に宮崎公立大学人文科学部准教授となり、2002年に同教授に就任。専門はハンドボール及び運動生理学。

きたしました。従来の方式では、成人女性にも成人男性用の算出式が適用されており、この研究を応用すれば成人女性の体脂肪率をより正確に測定できるようになります。最初に論文をAmerican Journal of Sports Medicineに投稿しましたが、内容を誉めたくなくて受理してもらえませんでした。体脂肪率の算出式の基準にアジア人を選出するのに抵抗が見えませんでした。科学の世界にも難しい問題が潜んでいます。

男性用の基準式では、標準的な体型をしている人 reference man (1963) (体脂肪率 15.4%、BMI 20.9 kg/m²) がベースになります。現在のMMUの学生男子 (2013) は痩せと言われるBMI 18.5 kg/m²以下で体脂肪率24.3%を示します。男性同様に体脂肪率が増えています。また、現役のMMUの学生は開学当時の学生よりも脚が長くなっています。腰の筋肉が落ちて座高が短くなったので脚が長く見えるのです。体脂肪率が増えた原因は、車社会であること、食事の中に占める脂質の割合が多いからです。生活の中に運動を取り入れて野菜を多く食べる習慣を身につけてください。

—とことん、やる。

にゅうた
田園の里 新田学園
(新富町立新田小中学校)

住友 洋子さん (旧姓^{ほか}外)

平成18年度卒業生 メディア論ゼミ (当時)

—現在の仕事について、教えてください。

中学校の英語教員をしています。小中一貫校なので、中学生だけでなく小学生にも、週1回の授業を行っています。また、教材づくりや、部活動・生徒会の指導、学校運営のための校務分掌等、授業以外の業務も色々あるんです。

—教師になろうと思ったきっかけは？

昔からなんとなく「教師になるかもしれない」という予感があった。でも、旅行業界にも興味があったので、どちらに進むべきかずっと迷っていました。そんな時、ゼミの先生に相談したら「お前は教師になりたいんだよね」と断言されて(笑)。あとは、教育実習に行ったことで、この予感が確信に変わりましたね。

—学生時代に打ち込んでいた事はありますか？

学生時代の前半は凌雲祭(大学祭)に、後半はゼミ(メディア論)に、とことん取り組んでいました。

まず凌雲祭についてですが、みんなで何かをわいわいする事が好きだったので、その年のテーマ1つを決めるのにも、何時間も話し合ったりして準備は本当に楽しかったですね。「白い家」(当時の凌雲祭実行委員会の活動拠点であった一軒家。現在は取り壊して別施設となっている)にずっと入り浸っていました(笑)。凌雲祭実行委員会に関わって、同級生だけでなく、先輩方とも密な時間を過ごす事ができました。その時の仲間とは社会人になった今でも、定期的に集まっていますね。

そして学生時代の後半は、ほとんど研究室に缶詰め状態で、ゼミにのめりこんでいました。タイのバンコクでの1カ月にもわたるフィールドワークを行ったり、ゼミの先生が方法論にも精通していたので、教師志望の仲間たちと「英語の身体化」を目指して、中学生英語の教科書を教材にして、ひたすら暗記していましたね。

—メディア論のゼミに所属していたこの事ですが、就職関係のゼミに入らなかったのはなぜですか？

ゼミ選択の時に、それぞれのゼミを紹介する一覧表があったのですが、そこに書かれていた「何かをとことんやりたい人、募集！」っていう言葉に惹かれて。ゼミ選びに関しては、就職はまった

く選択肢にありませんでした(笑)。

—現在の仕事に生かされている学生時代の経験はありますか？

ゼミでは、常に「とにかく何かをとことんやる」姿勢を求められました。その言葉は、仕事に対する姿勢を振り返る際に、私のなかで生き続けています。また、教職とはまったく関係のないゼミでの経験が、生徒たちと接する際に、強みになっていますね。

—教師という仕事について、やりがいや難しさを感じる瞬間はどんな時ですか？

学校行事は、生徒との話し合いによって自由にできる事が多いので、生徒と一緒に1つのものを作り上げる過程に、とてもやりがいを感じます。また、授業の中で生徒たちが「なるほど！」と納得してくれたり、卒業生が会いに来てくれて、私が伝えた何気ない言葉を覚えていてくれた時は、とても喜びを感じますね。

その一方で、教師と生徒の関係は、人と人との関わりあいなので、生徒との接し方に後悔する事はよくあります。特にはじめの頃は、「こうあるべき」「こうさせない」といった自分の観念に縛られすぎて、空回りする事もしばしばありました。ここ数年でやっと、自然体で教師を楽しめるようになっていったと思います。

—最後に、後輩へのメッセージをお願いします。

学生時代は、人生のなかで一番自由な時間です。学生の皆さんには、自分のやりたいことをとことんやってほしいですね。また、教師を目指している学生(もちろんそれ以外の学生も含めて)は、そのための勉強だけではなく、友達や先輩との繋がりを大切に、様々な考え方もった人たちと接して、その関係性を楽しんでほしいです。そうすることで、自分の幅が広がるし、人生を謳歌することができるのではないのでしょうか。

田園の里 新田学園 (新富町立新田小中学校)

宮崎県及び新富町の教育基本方針に基づき、小中学校の9年間を見通した系統性・一貫性のある小中一貫教育を行う。

■記事 津波愛乃

(2024年) メディアとジェンダーゼミ